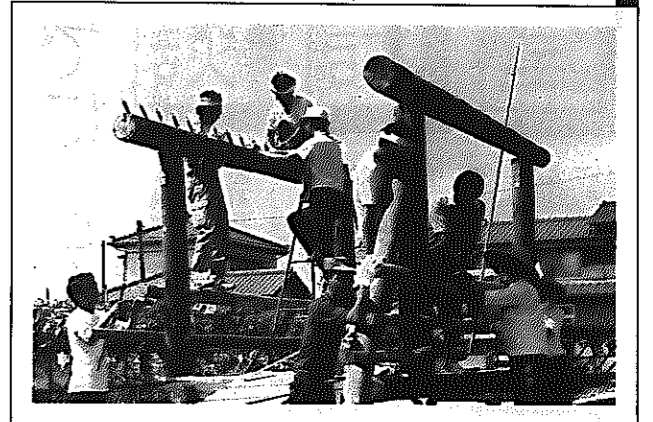


ま ち の 話 題

身近な情報をお寄せください
企画調整課広報広聴係
(☎373-2111) (㊟333)

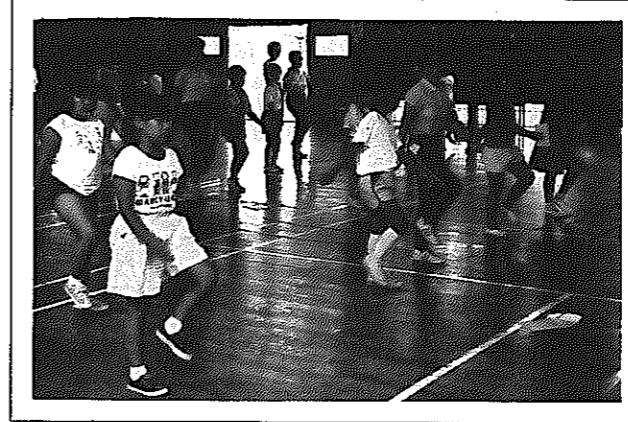
つばな遊具が完成 新飯田商工会青年部

八月二十八日と九月四日の二日間、新飯田商工会青年部(小林一夫部長)と保育園保護者会(小林孝子会長)は、新飯田保育園の園庭内に、労力奉仕で遊具作りに取り組み、みごと完成させて喜ばれています。
材料は、N.T.Tから寄贈してもらった電柱と購入した丸太で、くぎ抜きや丸太の皮はぎから始まり、面取りとボルトの長さ調節など、安全面にも心を配っています。
酒井ミワ園長は「手作りのりっぱな遊具を作っていたら、ありがたいことです。園児も大喜びで、毎日元気に遊んでいます」と話します。



健康のためにダイエット

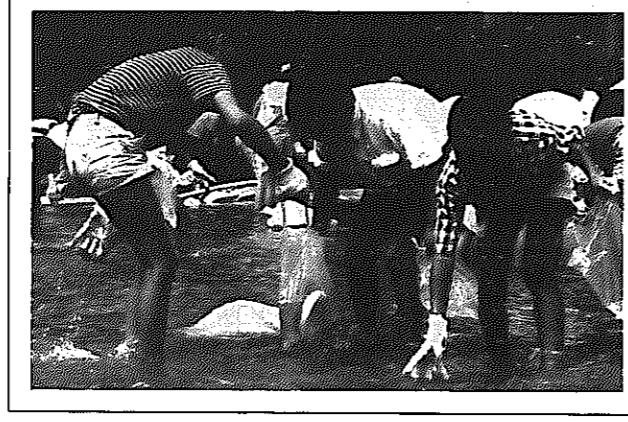
親子さわやか教室
小学生の肥満防止を親子で考えようと、教育委員会、養護教員会では、八月二十五日青年教育センターで、ちよつと太めのちびっ子たちと、お父さんお母さんら三十人を集め「親子さわやか教室」を開きました。
保健指導や栄養指導で、肥満の人がかかりやすい病気や、甘いものや油で調理しているお菓子はカロリーが高く太りやすいことなどを学習。昼食の後は、軽快な音楽に乗ってエクササイズウォーキング、リズム体操で汗を流していました。健康のためのダイエットにお菓子の誘惑に負けず、がんばれちびっ子たち!



夏休みのよい思い出

鷺ノ木水門
で見学会

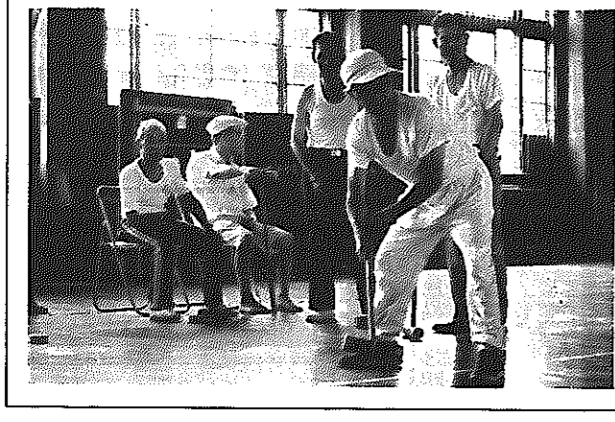
八月二十四日、四代目の水門としてもうすぐ完成する鷺ノ木水門の見学会が、大通小学校の生徒など二百五十人が参加して行われました。
見学会では、水門の役割や工事に使った材料、工事に携わった人数などの説明を、熱心に聞いていました。
ほかに、魚のつかみ取り大会や工作機械の試乗会も行われ、参加した子どもたちは、夏休みの一日を楽しく過ごしていました。
大通小四年の奥井裕介君と青木功雄君は「魚をようやく捕まえることができました。夏休みのよい思い出になります」と話していました。



温かい拍手と声援

脳卒中の後遺者の集い

八月十九日、脳卒中の軽度の後遺症を持つ人たちのゲートボール教室が開かれました。室内用のボールを使つてのゲームに、会場の教育委員会体育館は温かい拍手と声援に包まれていました。
指導に当たった体育指導員の堤正男さんは「後遺症が残ると、気持ちも沈みがちになるが、自分たちでも出来るんだ、という自信を持ってもらいたいんです」と話していました。
ゲートボールは初めてという人も多く、参加者たちは「早くルールを覚えて試合がしたい」と張り切っていました。



宅火災から人命を救うに市長表彰

八月二十九日、市ほう賞規則に基づく市長表彰が行われ、人命救助に功績のあった佐藤武志さん(上八枚・三十八歳)に、市長から表彰状と記念品が手渡されました。
これは、三月十日市内で起きた住宅火災に、佐藤さんが偶然通りかかり、中にいたおじいさんを救助したことによるものです。
佐藤さんは、「いったん通り過ぎたのですが、ガラスがまっ赤に染まっていたので、おかしいなと思い引き返りました。ガラスが割れる音にびっくりして、大声で叫びながら中に入りました」と話していました。



触れ合う福祉社会を築く

市社会福祉大会

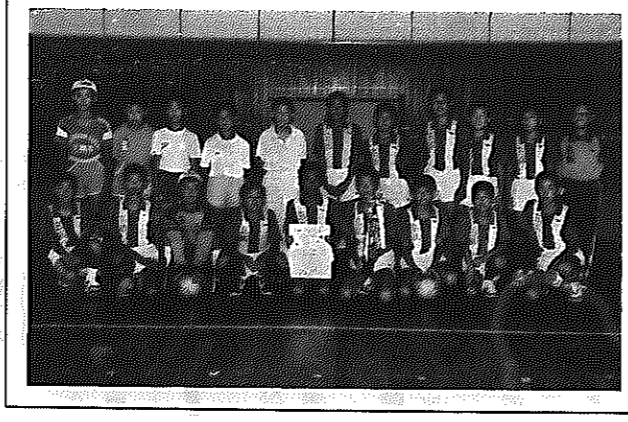
市社会福祉大会が九月九日約四百人が参加して、サルナート吉運堂で開かれました。初めに、社会福祉に寄与した個人・団体が表彰され、被表彰者を代表して、身障者を雇用している企業から「ハンディを感じさせず、職場を明るくしてくれます」と謝辞が述べられました。
続いて、故林家三平夫人の海老名香葉子さんが記念講演し、大会を終了しました。被表彰者は次のとおり。
功労表彰 中山ノブ、(株)関根モーターズ、安藤鋼機(株) 永年勤続表彰 上杉リン 感謝状 佐野金治郎、のぞみ会、白根ライオンズ(敬称略)



高杯サッカーで優勝

庄瀬小
サッカーチーム

庄瀬小のサッカーチーム「庄瀬コスモス」が八月六、七日に妙高高原町で行われた「第二回妙高少年サマーサッカー大会」で優勝しました。
大会では、予選リーグで強豪直江津チームを三対一で逆転勝ちし勢いに乗り、決勝トーナメント準決勝の燕チームに五対〇、決勝の中条F.C.(十日町市)に二対〇で完勝し優勝。
今年から指導している吉田浩先生は、「決勝戦では、ファウルをかなり取られました。これもボールに向かって行くフアイトの表れだと思います」と話しています。秋の大会に向けていっそうの活躍を期待します。



道路を花で美しく

安藤マツエさん
建設省から表彰

八月二十九日、建設省黒埼維持出張所で「道路を守る月間」表彰式が行われ、安藤マツエさん(五十五歳)が表彰されました。これは、安藤さんが、夫の経営する新飯田地内のガソリンスタンド前の植栽帯に三年前から草花を植え、道路を美しくしていたことに贈られたものです。
「最初は除草だけやっていたのですが、もの足りなく感じ花を植えたのがきっかけです。今では六つの植栽帯の手入れをしています」と安藤さんは話します。今年も、カンナやサリビアが美しい花を咲かせ、ドライバーの目を楽しませてくれました。

